第103 運営推進会議等報告書

令和7年3月14日

事業所名	グループホームお城下			
担当者	西田英子 福島眞理 木原弘美	電話番号 089-921-0207 FAX 089-921-0208		
1 開催日時	令和7年3月14日金曜日 13:30~14:30			
2 開催場所	グループホームお城下 3F つる			
3 出席者(敬称略)				
来賓	松山市職員様	欠席		
4人	松山市地域包括支援センター東・拓南様	出席		
	千舟町3・4丁目町内会長様	出席		
	千舟町3・4丁目民生委員様	出席		
	グループホーム〇〇〇〇施設長様	出席		
職員人	医)啓蟄会理事 法令遵守責任者	西田英子		
	医療連携西田クリニック看護師長	筒井恵子		
	管理者ケアマネージャー	福島眞理		
	グループホームお城下リーダー	木原弘美		
	医療連携西田クリニック職員代表	白方頼子		
	入居者代表	〇〇栄子 〇〇八千代		
	介護職員代表	〇〇映理		
	介護職員代表	〇〇友紀		
	介護職員代表	〇〇まい		
4 活動状況	活動状況の内容	良	不可	説明 評価 助言等
	1 成年後見制度 ① 診断書 ② 請求書作成 ③ 本人情報シート ④ 本人情報シートの解説	○ ○ ○ ○ ○		診断書は本人情報シートを参考にして「後見」としました。長谷川式認知症スケールを行いました。 1 本人の生活場所 2 福祉に関する認定の有

	<p>2 骨卒中とは耳慣れぬ言葉ですね。お話を聞きましょう。</p> <p>3 お城下だより 1月の行事 ① ~③</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>無等について</p> <p>3 本人の日常、社会生活の状況について</p> <p>4 本人にとって重要な意思決定が必要となる日常、社会生活上の課題</p> <p>5 家庭裁判所に成年後見の利用について申立をすることに関する本人の認識</p> <p>6 本人にとって望ましいと考えられる日常、社会生活上の課題への対応策 以上を添付資料をご覧の上木原が解説します。</p> <p>健康寿命を縮める「骨卒中」とはおもに骨粗鬆症による脚の付け根部分の大腿骨骨折や背骨の圧迫骨折をさします。歩行能力や生活の質の低下を招き寿命に大きく影響を与えることから「脳卒中」とおなじく「危険なケガ」といういみで使われます。50歳代からリスクが増えるそうです。ご出席の栄子さんも大腿骨骨折の経験者でリハビリの苦労話に花が咲きました。同じく八千代さんも入居直前の転倒でほっぺにけがをしてかなり痛かったと語られました。</p> <p>① しめ飾り お飾りのみかんを食べて酸っぱいのを味わった方もいて労作は自室の戸口で新年を待ちました。</p> <p>② おせち料理</p>
--	---	--	---

	<p>2月の行事 ①～②</p>	○	<p>大皿に盛られたお料理の数々は毎年定番のおいしさです。</p> <p>③ 七草がゆ 皆さん完食で作りても張り合いがありました。</p> <p>2月のレク</p> <p>① 節分 優しい入居者さんたちは「鬼は内福も内」と体の可動域の限界まで振り絞って鬼退治に挑みました。お豆はそこそこにポリポリおあがりでした。</p> <p>節分のごちそうは豆ごはんやイワシの生姜煮など皆さん完食です。鬼の絵は職員さんの手書きです。</p> <p>② 頭の体操 「はやくできるかな」と真剣な面持ちで競っていました。</p> <p>面会開始中（要予約） 宜しくご協力をお願いします。</p>
	<p>4 お願い</p>	○	

5 その他の特記事項	
	<p>グループホームお城下のホームページにお城下だよりを掲載しています。103回活動状況報告書及び運営推進会議等報告書のブログも掲載しています。</p> <p>URL https://matsuyama-oyouka.jp</p>

医療法人啓蟄会理事

法令遵守責任者 西田英子